

平成 28 年 11 月定例教育委員会会議録

1.11 月定例教育委員会会議

- [1]期 日 平成 28 年 11 月 28 日 (月)
- [2]場 所 市教育委員会 教育長室
- [3]会議時間 午前 9 時 54 分から午前 12 時 2 分まで
- [4]出席委員 橋口玄郎委員長、池野康己委員長職務代理者、
連尺野智子委員、竹之下悟教育長
- [5]参 与 中武教育政策課長、渡邊社会教育課長、
伊達スポーツ振興課長、田中教育政策課課長補佐、
杉本教育政策課課長補佐、山本教育政策課教育総務係長
- [6]議事日程 第 1 会議録の承認 10 月定例教育委員会会議録
第 2 行政報告 11 月行政報告について
第 3 議案第 2 6 号 西都市立小中学校の通学区域に関する規則の一部改正に
ついて
議案第 2 7 号 平成 28 年度予算補正要求について
第 4 そ の 他 ①西都市教科等研究会補助金交付要綱の一部改正につい
て
②イタリア視察(資料調査)報告について
③都於郡城跡ガイダンスセンター建設事業について
④来年度以降の学校教育施策について
⑤これまでの定例教育委員会での懸案事項等について

2.開 会

委 員 長 ただ今より、11 月定例教育委員会を開催いたします。

3.会議録承認

委 員 長 はじめに、10 月定例教育委員会会議録の承認を求めます。
会議録については既に原案を配付しておりますが、会議録に記載した内
容についてご異議ございませんか。
(異議なし)

委 員 長 ご異議ないようですが、一部修正の必要な箇所がありますので、必要な
修正ののち会議録を承認することといたします。

4.行政報告

委 員 長 つづいて、11 月の行政報告をお願いします。

教 育 長 11 月の行政報告について、概要を報告いたします。
(主要なもの)

- ・学校支援訪問
- ・西都市小中学校音楽大会
- ・西都市教育文化祭
- ・宮崎県都市教育長協議会（第2回）
- ・市町村教育委員と県教育委員との意見交換会
- ・宮崎縣市町村教育委員会連合会研究大会
- ・曾於地区教育協議会管外研修視察
- ・西都市教育委員会指定研究学校研究公開
- ・児湯地方教育委員会連絡協議会秋季研修会
- ・市町村新任教育委員研修会
- ・西都市特別支援学級合同運動会
- ・西都・西米良地区現職・退職校長会合同研修会
- ・山村留学懇談会
- ・さいと子どもフェスティバル
- ・西都市総合文化祭芸能大会
- ・都於郡城跡ガイダンスセンター資料調査
- ・指定子ども会定例公開
- ・西都市青少年育成連絡会
- ・都於郡ガイダンスセンター建設検討委員会
- ・宮崎県中学校駅伝競走大会
- ・第4回西都市高等学校野球交流大会
- ・スポーツ少年団交流大会及び指導者協議会

（西都・児湯地区中学校秋季体育大会について）

西都市では4種目開催されましたが、私は柔道とソフトテニスの女子を応援に参りました。西都市では結果として本年度もたくさんの選手・チームが県大会に出場を決めております。特に妻中学校は、全体で選手が150名となっておりまして、2番目に多い富田中学校が80名くらいの状況であり、他校を圧倒しており、県大会でも大変期待をされる状況であります。

（学校支援訪問について）

本年度最後の学校支援訪問が銀上小、銀鏡中でありました。少人数の学校ではありますが、個人差への対応や習熟を図るためのチャレンジタイムの設定など、学校の考えている教育課題に対応して、こちらからも指導を行ったところでありました。連尺野委員にもご出席いただいておりますので、追加がありましたらお願いします。

（西都市小中学校音楽大会について）

69回の歴史を重ねておる大会ですが、すばらしい演奏、合唱の連続で感動的であったと聞いております。全体合唱を初めと終わりに組み入れてありますが、市民歌とジル作「きっと」を歌いました。それ含めて感動的であったと聞いております。また、午前が小学校、午後が中学校というよう

なかたちもとおったのですが、ここ数年午前中の半日で終了するような運営上の工夫も功を奏してすばらしい大会であったと受け止めております。

(西都市教育文化祭について)

817名の児童生徒たちによる作品921点を市民会館で展示をいたしました。学習の成果を感じさせる作品でありましたし、来場者数も毎年1,000名以上を目標にしておるんですが、本年度は1,220名と昨年比で150名の増もあって盛況に終わっております。

(宮崎県都市教育長協議会(第2回)について)

協議事項については、8項目ほどありました。主として文教に関する国の施策並びに予算についての陳情内容の検討、さらには当面する教育行政の課題として各市が抱えていることについての協議をしました。特に学校トイレの洋式化やALTの有効活用等について協議をしたところでした。2日目は視察研修ということで福島中学校跡に六つの中学校が統合されてできるという移行状況と都井岬で野生馬の生態の説明を受けながらの視察を行ったところでありました。

(市町村教育委員と県教育委員との意見交換会について)

これには池野委員、連尺野委員に出席いただいております。中部教育事務所管内の教育委員さんを対象とした会議ですが、お伝えいただくことがあれば、後でお願いをします。

(宮崎県市町村教育委員会連合会研究大会について)

2つの事例発表と講演、講話があったところです。事例発表は今年輪番として延岡市と高千穂町が行いました。また、講演、講話としては、本県キャリア教育の現状と今後の課題と称して、県の教育研修センター内に設置されている「キャリア教育支援センター」のお三方から今後の方向性についての有意義な提案があったところでした。特にどこも取り組んでいるふるさと学習、本市では「さいと学」になるわけですが、このふるさと学習に県全体で今不足しているものが二つあるという指摘は、印象的でした。その二つの指摘とは地域で暮らしている方から郷土愛や地域の課題解決へ取り組んでいる思いを語り伝えていただくことが不足しているのではないかという指摘、もう一つは地域の中にある企業等の産業との連携不足の指摘です。西都市でも中学生になると「職場体験学習」で地域の企業等に出かけてはいますが、大切な視点として受け止めたところでした。3人の委員さんもお出席いただいておりますので、感想等があればまた聞かせていただければと考えます。

(曾於地区教育協議会管外研修視察について)

曾於地区は曾於市、志布志市、大崎町の3市町で構成する地域のようにありますが、教育委員さん方が主たる視察者でありまして、本市の一貫教育の推進状況についての研修でありました。

(西都市教育委員会指定研究学校研究公開について)

穂北中学校の研究公開で100名を超える参加者がありました。研究主題を「望ましい人間関係を築き、自ら学ぶ意欲を持つ生徒の育成」、副題を「学び合い」とし、授業の実践を通して、目指す生徒の姿を発表してもらったところであります。その成果は四つの授業だけでなく、後の全体説明とか、先生方の研究協議の中でも学び合いの姿として存分に作っていただきました。その意味でも提案性の高い公開であったというふうに受け止めているところです。

(児湯地方教育委員会連絡協議会秋季研修会について)

委員長と池野委員に出席をいただいております。都城方面の研修視察であったと聞いておりますが、報告を後でいただければと考えます。

(市町村新任教育委員研修会について)

杉尾委員、連尺野委員に出席いただいておりますので、報告があればお願いしたいと考えます。

(西都市特別支援学級合同運動会について)

私は都合で行けなかったんですけども、田中補佐と野邊指導主事に参加していただきました。特別支援学校からも子どもたちが出席して、妻北小学校を会場にしておりますが、妻北小の2年生とのふれあいもあり良い運動会であったと聞いております。

(西都・西米良地区現職・退職校長会合同研修会について)

今年度は講師として100歳まで生きるための体操ということ等で実技を交えた有意義な和気あいあいとした研修が進んだところでありました。

(山村留学懇談会について)

本日夜ですが、山村留学の課題等を協議しながら次に備えたいと考えているところがございます。

(さいと子どもフェスティバルについて)

市民会館の自主文化事業として行っているものであります。内容は、民謡、日本舞踊、ダンス、楽器の演奏、民俗芸能などの文化活動を子どもたちが自主的に行ってその発表を行うことによって研鑽を積んでいこうという趣旨のものであります。

(西都市総合文化祭芸能大会について)

市主催の芸能発表大会で、太極拳、舞踊、民謡、大正琴など12の団体が発表を行いました。実行委員会形式をとっておりますが、実行委員会の方々の力添え等もあって、すばらしい発表の大会となっております。

(都於郡城跡ガイダンスセンター資料調査について)

イタリアに資料調査を主たる目的として出張させていただきました。この報告はその他の中で出張した者を含めて報告をさせていただければと考えております。

(指定子ども会定例公開について)

今月は4つありました。私は26日の平原・竹尾地区のほうに参加をさせていただきました。そこは6人の子どもたちと少ない人数でありましたが、非常にまとまりが良く、内容もすばらしかったです。お楽しみ会の場面でも、たとえば通学路の安全点検を自分たちが保護者とともにしましたということや穂北城や古墳を視察して勉強した成果を発表しておりました。発表したことをクイズ形式にして、回答者には農産物をお土産にするという工夫もあり盛り上がったところでした。ほかの子ども会も同様に、西都市が外に誇る子ども会として、着々と公開が行われております。

(西都市青少年育成連絡会について)

西都市青少年センターが主催するものです。主に青少年の指導及び相談に関する事、関係機関及び団体との連絡協議に関する事等を協議の内容としておりますが、今回は県警のサイバー犯罪対策室から情報モラル・インターネットの危険性についてという講話をいただいたところでありました。その後、日頃感じておられる青少年健全育成についての意見交換をしてもらったところでもあります。

(都於郡ガイダンスセンター建設検討委員会について)

ガイダンスセンターの建物と展示についての協議を今年で第6回という回数を重ねております。私もイタリアに出張し、展示品としての資料等の調査もしておりますので、今後報告をしながら、施設建設についてご了解いただくという手続を踏むこととなります。

(宮崎県中学校駅伝競走大会について)

去年は、高校駅伝が九州大会も開催された関係から、中学校駅伝は宮崎市が会場でした。またこちらに戻ってきていただきました。妻中学校が男女とも代表で出てくれましたけれども、女子が3位、男子が2位という結果でありました。男子は2位でしたので九州大会まで出場ができるということでもあります。

(第4回西都市高等学校野球交流大会について)

西都市の2つの学校の底上げにということで今年は福岡市の城東高等学校というところから来ていただいて交流大会を行っていただきました。その部長さんが西都市出身の方だということもありまして、強いチームでしたけれども、子どもたちは胸を借りる場となったと聞いております。

(スポーツ少年団交流大会及び指導者協議会について)

少年団の子ども、保護者、指導者たちが一体となった運動会形式で1日を過ごしております。1,000名を超える子ども、大人が秋の1日を共に楽しんだと聞いております。

委員長

追加で感想等を述べていただくと有り難いと思っておりますけれども、まず15日の市町村教育委員と県教育委員との意見交換会、池野委員と連尺野委員に参加していただきましたけれども、何か感想等ございますか。

池野委員

今回参加させていただきまして、他の市町村の教育委員会の活動内容な

どを聞くことができまして、今後西都市の教育委員会の中でこういった活動ができるのかということを考えさせられる良い機会になったのかなと思います。夜の交流会のほうにも参加させていただきまして、いろんな話が聞けましてとても良い機会を頂きました。ありがとうございました。

連尺野委員

まだ、3か月にも満たない私が参加をさせていただいて、すごく良い機会だったと思います。入ったばかりの私じゃないとお聞きできないかなというようなことを、教育委員とは何ですかという、本当に素朴な質問をさせていただいたんですが、そうしたら、そこに参加していた11年目の方もいらっしゃる、1年目、2年目、3年目の方もいらっしゃる中で、皆さんが大きくなすいてくださって、皆さんが教育委員の立ち位置というのが分からないとか、そういう意見があつて、素人でいいんじゃないかとか、プロになる必要はないんじゃないかとか、いろいろな意見を頂き、私もこのまま活動していけるのかなという感想を持ちました。それから、こういう会議に研修とかに行くときには、ほかの市町村の方たちは、担当の方たちと意見交換をしながら、その研修会に出てくるということをおっしゃっていましたので、これからは私もそういう方面で是非勉強させていただきたいと思います。よろしくをお願いします。

委員長

今言われた件は前回の池野委員の指摘ともまたつながる部分がありますので、事務局の方は大変でしょうけども、是非お願いできたらと思います。続きまして、16日の連合会の研究大会に3名参加されていますが、杉尾委員は今日欠席ですので、池野委員と連尺野委員で感想がありましたらお願いします。

池野委員

先ほど教育長が説明の中でおっしゃったとおり、キャリア教育の話の中で自分の感じたことは、先ほど教育長が言われたとおりだなと、全く同じ感想を持ったところでした。私も一農業者として、自分の仕事の魅力とか、そういうことを発信していかなければならないのかなと感じたところでした。また、これは地域の地域づくりの方とかに聞いてもらうといい話だなと感じました。

連尺野委員

今、池野委員がおっしゃってくださったとおり、同じようなことを感じました。

委員長

さいと学の中での活用というようなことも事務局のほうでまた検討してもらえるとということになろうかと思います。続きまして、児湯地方教育委員連絡協議会秋季研修会に参加された池野委員、何か感想がありますか。

池野委員

最初に住友ゴム工業さんのところに行ったんですけど、そこではダンロップとファルケンのタイヤを製造されているということで、広大な敷地の中に24時間態勢で1,400名以上の方が働いているということで、すごいなという印象を持ちました。それから工場内を見学させてもらう中で本当に安全にものすごく気を使われているなという感想を持ちました。それから都城高専では、僕も勉強不足だったんですけど、大学のような90分の授業

ということ、工業系の授業の先生方は博士とか准教授とかの先生がされるとか、5年間で卒業した後には、大学に編入される方がかなり多いといったことなどを聞かせていただいて本当に良い勉強になりました。

委員長 私も行かせていただきましたが、3つの施設を勉強させていただいたんですが、全部環境管理が行き届いていてきれいだったなど、ゴミなんか落ちていてというところに気がつきませんでしたので、ああいうところから企業などは成功したりするのかなと思ったところでした。住友ゴムについては、1,700に近い人数の従業員の中で、1,500名くらいが曾於市を含めて地元採用ということでした。あんな大きな企業が西都市にひとつあるとこれはすごいなと印象を持ったところでありました。それから、高専については、西都だけでなく、東児湯も含めてですが10名くらい来ていると。聞きそびれたんですが、5学年通して10名でなくて、毎年10名くらいという印象で思ったところでありました。学校種が違いますので、これは単なる頭脳流出ではないと思いました。霧島酒造は、沖水でなくて、新しくできた方を見学させていただきましたが、説明も非常に良くて、さすがに全国一の酒造会社だと思ったところでありました。すばらしい研修ができたと思ったところでした。24日の新任教育委員の研修に2人参加されたんですが、先ほども少し触れられましたが、この回について印象ありますか。

連尺野委員 県の教育委員の方とか教育委員会の職員の方からのご指導を受けた研修会でしたけど、教育委員としての仕事分担、役割というのを大変良く教えていただきました。

委員長 それから25日の支援学級の合同運動会に事務局から参加された田中補佐は何か印象はありますか。

田中教育政策課課長補佐 全ての学校、それから児湯るびなす支援学校からも参加をしております、非常にいい雰囲気で行われておりました。子どもたちにとってはそれぞれの学校でも運動会を経験しております、2回目の運動会になりました。印象的だったのは特に中学校の特別支援学級の生徒さんが、リーダーとして小学生の特別支援の子どもたちをひっぱろうとしているんですね。そういう姿をみると非常にいいなあと感じました。それぞれの子どもたちにメダルをかけていくんですけども、そういう意味でもそれぞれの子どもたちが、満足感、達成感を得られるような取組がされていて非常にいい大会だと思いました。

委員長 これは毎年やっているんですか。全部妻北小でやるんですか。持ち回りですか。

教育長 妻北小に事務局がありますので、会場は妻北小の体育館というふうに決めております。

委員長 子どもたちが少しでも元気が出るという感じでお聞きしたところでありました。それから西都市の小中学校の音楽大会が9日にあったということで、午前中に企画変更をして大変すばらしかったというような報告

をいただいたところですが、今日の新聞に銀上小学の4年生の子どもがですね、来年も頑張るといような意気込みで非常にすばらしい感じでしたね。自分の気持ちが素直に出ている投書をしていてくれて銀上学園の宣伝にもつなげたのではないかなというふうに思ったところでもあります。あとは、中学校駅伝競争大会が男子2位、女子3位ということで、期待の大きいチームであるだけに大いに楽しみにしていたところなんです、男子だけでも九州大会に行けるといことで市民に少しでも勇気を与えてくれたのではないかなと思います。城東高校の部長さんは矢生町の方で、かなり有名な方でありました。地元に戻ってきていただいて指導等をいただければ、また後輩が育つのではないかなと思ったところでした。ここには載っていませんが、スポーツ関係では中体連の大会で、バスケットの大森君ですかね、65点中60点も出すものすごいことをやり遂げて優勝したというのがものすごく印象に残ったところでもあります。妻中が上位入賞が柔道部だったですか、非常にすばらしいことをやってくれているなと思いますが、スポーツ振興課長のほうは何か印象ありますか。

スポーツ振興課長 スポーツ少年団の交流大会、運動会形式で毎年行われているわけなんですけれども、その中で単位団35団体を赤団、白団、青団と3つの団に分けて、ふだん付き合わない子どもたちと団を一つにして心一つにして競技に取り組み、また、その競技とは別に単位団対抗での競技種目もありまして、その中では、自分たちの力を出そうとする気持ちが見えて、団対抗では柔和な姿、単位団では一生懸命な姿で頑張っているのが印象強く感じたところでもあります。

5. 議 案

委 員 長

議案の審議に入ります。

まず、議案第26号 西都市立小中学校の通学区域に関する規則の一部改正についてを議題にいたします。説明をお願いします。

教育政策課長

議案第26号 西都市立小中学校の通学区域に関する規則の一部改正について、就学すべき学校の指定の基準について、就学する者の住所に基づき行うこととするため、所要の整備を行おうとするものです。

(資料により説明)

委 員 長

ご意見はございませんか。

池 野 委 員

現行の場合は「就学しなければならない」というのはないんですか。

教育政策課長

現行の第4条で「保護者の住所の属する通学区域の学校でなくてはならない」といことで、若干曖昧ではありますが、強制的な言葉にしているところでもあります。改正後の第3条では「指定する」といことで、強制的な文言を省いたところでした。こちらにつきましては、保護者が単身赴任をしているご家庭とか、子どもの住所地と保護者の住所地が違う場合がございます、そういった場合には実際に生活をしている子

どもの住所を基準にしているところがございますので、子どもの住所地で指定をするということとしているところでもあります。この議案につきましては、法規審議会からの指摘等もございますので、第4条を削除させていただいて、第5条以下の条項を繰り上げさせていただきたいと思いますが、それでご承認をいただければと思います。

委員 長

第4条を削除して、第5条以下が繰り上がるというかたちの改めでの提案というようなことなのですが、これで問題が起きなければ、そのとおりで良いと思うんですけども、通学区域に関する規則だから、元々学齢児童とか学齢生徒は、義務教育である限りは法の定めるところによって就学させなければならないという義務があるわけだから就学まで規則で書く必要はないわけですよ。あなたはここですよという指定があれば良いわけだから、無理してここに入れなければならないということはないですよ。そういう理解でよろしければ、そういうかたちで認めていただきたいと思います。ついでに質問ですが、第5条にやっぱり不登校とか引きこもりという関係の子どもたちとかいじめとかいう問題が起り始めてこの特別許可が出るようになったというふうに思うんですが、今まで転入学だったんですか。

教育政策課長

転入学という言葉で規則上はしております。これを就学ということで全体的な言葉の見直しも少しさせていただいたところでもあります。

委員 長

例えば僕が妻南小学校で非常ないじめにあって、どうも妻南小に通えないということになったときに、環境施設的にいいので茶臼原小学校に行かせてくれんかというふうになったときは、学籍簿は妻南小にあるんですよ。就学だけで茶臼原に行ったとしたら学籍簿はどこにあるんですか。

教育政策課長

まず、学齢簿そのものは西都市教育委員会で管理するものですので、教育委員会内部でどの学校に行っているということを書いている学齢簿がございます。学校につきましては、学校が変わればその学校に学籍簿を送って、そちらで整理をしていただくということになりますので、写しを新しく行った学校に送ってそちらで新しく作っていただくというかたちになると思います。

委員 長

指導要録上は、妻南小に入学と書いて、転校したら下の方にまた書くじゃないですか。就学はそのままにしておくのか、指導要録は持って行くのか。指導要録を持って行けば転入学、就学ではなくて転入、転出になりますよね。

教育政策課長

ただ、この場合は、就学という言葉は転入学も含んでいるということになると思います。最初から就学予定者が指定された学校に行かずに特別な理由によって入学そのものから別の学校に行きたいという場合も含めておりますので、就学という文言に変えさせていただいているところがございます。

山本教育政策課

転入学という表現に関して、根拠法令の確認をしたところ、明確にこう

教育総務係長 いった表現を使っているところがなく、就学という表現で法令上も構成されているところだったものですから、これに合わせて就学という表現に統一させていただいたところであります。

委 員 長 お諮りいたします。議案第 26 号 西都市立小中学校の通学区域に関する規則の一部改正について、ご異議ございませんか。

(異議なし)

委 員 長 ご異議ないようですので、議案第 26 号を承認いたします。

つづいて、議案第 27 号 平成 28 年度予算補正要求についてを議題にいたします。説明をお願いします。

教育政策課長 議案第 27 号 平成 28 年度予算補正要求について、教育総務費など、総額 7,310 千円の減額補正を要求しようとするものです。

(資料により説明)

池 野 委 員 音楽大会に出場されたときの旅費の 8 割を補助することについては、これは 30 ページの資料にあるようなスポーツでの大会についての補助金交付要綱のような感じで整備しなくても大丈夫なんですか。

教育政策課長 今回は既に 10 月に出場しておりまして、遑って補助をさせていただくということで、今ある教科等研究会の中での処理をしていただきたいと考えております。来年度に向けて、今年度中に池野委員がおっしゃったようなかたちで運動部と文化部をあわせたかたちでの部活動への補助金ということで要綱を整備したいと考えているところでございます。

委 員 長 その件について質問しようと思っていたところですので、是非考えていただけると有り難いと思います。

お諮りいたします。議案第 27 号 平成 28 年度予算補正要求について、ご異議ございませんか。

(異議なし)

委 員 長 ご異議ないようですので、議案第 27 号を承認いたします。

6.その他

[1] 西都市教科等研究会補助金交付要綱の一部改正について

教育政策課長 (資料による説明)

[2] イタリア視察(資料調査)報告について

社会教育課長 文化財係のほうのイタリアの施設に随行で行った者と都於郡ガイダンスセンターに携わっておる係員を同席させていただいてよろしいでしょうか。

委 員 長 お諮りいたします。イタリア視察関係と都於郡ガイダンスセンター事業について、係員が説明の都合上参加したいということですが、お認めいただけますでしょうか。

(異議なし)

委員 長
教育 長
叢方社会教育
課 課 長 補 佐
委 員 長

では、同席を許します。
(資料による説明)
(資料による説明)

大変意義のある訪問であったという報告であります。成果も見られたということで今後にも期待もできるということも含めて参考になったのではないかと思います。

[3] 都於郡城跡ガイダンスセンター建設事業について

社会教育課長
児玉社会教育
課文化財係長
委 員 長

(資料による説明)
(資料による説明)
今後のコマーシャルも含めて、社会教育課には頑張ってくださいと思います

[4] 来年度以降の学校教育施策について

教育政策課長
田中教育政策
課 課 長 補 佐
委 員 長

(資料による説明)
(資料による説明)
具体的には12月の委員会で内容が盛り込まれて提案されるということですが、今のうちに聞いておきたいことがありますか。

池 野 委 員

さいと学に関してですが、各教室にモニターがありますが、さいと学こそああいうものをうまく利用してほしいと思います。僕は農業をしていて、園芸振興会の役員もしておりまして、その関係で味覚に訴えるという意味で西都の農産物を学校給食で出すことがあるんですけど、食べる前にICTを利用して、生産者の声とかそういったところも使って、この間のキャリア教育ではないんですけど、職場の人の発信とかも是非ICTのモニターを使ってやっていくと非常にいいのかなと思ったので発言させていただきました。コミュニティスクールについては、ちょっとずれているのかもしれませんが、三納と三財と銀上学園と施設一体型の一貫校があり、連携型もあるんですけど、部活動のことを考えた場合に、少年団などとの連携とかがどうなのかなと思います。中学校に入れば先生たちが一生懸命指導されるんですけど、少年団に対してもっと支援できる場所があれば、部活動でもまた伸びていくのかなというのがありまして、地域の保護者の方からもそういう意見を言われることもありますので、その辺は今後連携できたら良いのかなと考えています。

委 員 長

今、4月と3月に、どちらかが相対評価でどちらかが絶対評価でやっていますよね。その成果とといいますか、各学校が指導に生かす意味でその年度ではなくて、次の学年に送る際に参考になるようなスタイルになるように

現状はなっていますよね。それが消えてしまうということのメリット、デメリットということは、切り替えていった場合に、その評価の視点から見たときにどういうふうになるのかということも検証をさせていただいて12月に出してもらえると有り難いなと思います。現状が各学校で活用されてきたのかということで、今年は学校支援訪問に変わりましたので、なかなか難しくなりましたが、昨年までの訪問では各学校とも学力状況については、年度当初と年度末の評価に基づいて、現状こうなっているという説明等も頂いたところですから、その辺のところも是非お願いしたいというのが一点と、市の教育センターの取組について毎年大変すばらしい発表をさせていただいているところですが、各学校に持ち帰ってうちではこういうふうに展開をしたらうまくいったとか、こういう課題が残ったとか聞いたことがないんですよね。あれだけのエネルギーを使って発表をさせていただいて、その後どうなったのかなというところもあるといいのかなと思います。それから、ちょっと無理な要求かもしれませんがお願いしたいし、池野委員さんから出ました、大型テレビを利用して、授業の活用だけでなく、さいと学なんかで直接人を連れてこられない場合に、そういった画面を通して銀鏡でこんなことをやっているというのを三財でやって映して見たりとか逆の方向でやったりとか本当にあったらいいのかなと思いますし、部活動の問題は少人数になっていく中で、だいぶ前から話題にはなっておりますが、そういった取組についてももう少し検討していく。これは中体連、小体連の関係もあってなかなか難しいものもあるかとは思いますが、そろそろ検討していかなければならないのでないかなと思うところであります。課題はたくさんあるかとは思いますが、よろしく願いいたします。

[5] これまでの定例教育委員会での懸案事項等について

教育政策課長 (資料による説明)

田中教育政策 (資料による説明)

課 課 長 補 佐

池 野 委 員

教育政策課長

電子たばこはやっていますが、喫煙として見るんですか。
受動喫煙という煙に関するもの、それからたばこそのものの害と二通りあると思います。あとは県の条例とかで規制されているところは、歩きたばこで熱を持っている危険性というがあると思います。学校敷地内での禁煙については、受動喫煙の防止ということが主眼となっているところでございます。電子たばこについてはいろいろあるんですが、インターネット等で見ますと煙が10分の1くらいの影響だという話もございしますが、それはある程度害があるということであると思っておりますので、それも含めたかたちで禁煙と考えているところでありますが、今後検討していくべきものだと考えております。

委 員 長

いじめに関しまして、13件になっているので、1件未解決ということにな

りますが、いらぬお節介かも分かりませんが、神奈川県は福島いじめにあるように、いじめと捉えていなかったという問題もあります。くれぐれも市内12校のとらえ方として、そういう誤認というか、あんまりたいしたことはないという感じで捉えて事件が起きないように是非お願いしたいと思います。

7.閉 会
委 員 長 以上で本日の会議を終わります。

8.次回教育委員会開催日程

平成28年12月26日（月） 午後2時30分から